



学友支援 ニュース・レター No.68

発行：金沢大学学友支援室 2015年11月27日

TEL：076-264-5081 mail：gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

ホームページ：http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakuyu/index.html



留学生ホームカミングデイに約100人が参加

平成27年11月1日(日)、金沢大学ホームカミングデイの開催に併せて「第4回留学生ホームカミングデイシンポジウム」が開催され、学内外から留学生同窓生、留学生ら約100名が参加しました。

山本 博(やまもと ひろし)理事(国際・同窓会担当)・副学長からの歓迎のあいさつに続き、ホームカミングデイ参加のため来日した、タイ同窓会のパーサコーン・キティヨム会長、中国同窓会の王安麟(おう あんりん)会長、来年1月に設立予定のインドネシア同窓会のアチェブ・プルコン会長が、本学での留学経験、これまでの本学との交流について講演しました。

留学生同士も活発に交流する姿が見られるなど、次回の再会を約束し、閉会となりました。

短信① ▶ 薬学部卒業50年の同期会「支麓会」、東京で開催

薬学部を1965(昭和40)年卒業し50年となる支麓会が、9月27日中秋の明月の夜、緑豊かな皇居を一望できる「KKR ホテル東京」において開催され、盛会であった。卒業生46名の「46」の語呂合わせによる「支麓会」は、半世紀を経て高齢者となった今、8名が物故者となり、現在38名、当日の出席者数は25名であった。

学生時代にタイムスリップして懐かしい写真を中心にしたスライドショー(金沢城跡の教養部時代、小立野の専門課程時代の研究ほか運動・文化活動)は、青春時代が彷彿として甦った内容盛り沢山、非常に好評であった。近況を語り合い話も弾んで旧交を温めることができ楽しい時間でした。最後に、薬学部生の愛唱歌「名無草」と「金沢大学校歌」を全員で斉唱した。次回は、関西での開催を予定した。

(幹事：石川勝利、大島武史記)



同窓会&金沢大学関連行事予定

- 12/4(金)◆第753回北の都会月例会(ライオン銀座7丁目店)
- 1/8(金)◆第754回北の都会月例会(ライオン銀座7丁目店)
- 2/4(木)◆第755回北の都会月例会(ライオン銀座7丁目店)
- 2/6(土)◆法経文学部同窓会富山支部総会
- 3/4(金)◆第756回北の都会月例会(ライオン銀座7丁目店)
- 3/22(火)◆金沢大学学位記・修了証書授与式
- 4/6(水)◆第757回北の都会月例会(ライオン銀座7丁目店)

短信② ▶ 北陸電力金沢大学同窓会総会・懇親会

10月16日(金)に、富山市のボルファートとやまにて、北陸電力金沢大学同窓会の会員総会・懇親会を開催しました。本会は平成22年以降、毎年開催しており、今回が6回目になります。当日は、新木会長(昭和34年卒)以下59名が参加し、来賓として山崎学長、南支援室専門員にもご出席いただきました。

新木会長の挨拶、山崎学長の来賓挨拶、大学基金への寄付贈呈の後、三鍋前副会長の発声による乾杯で、懇親会が始まりました。

懇親会では、今春卒業した新入社員による力強い決意表明や出席者全員による校歌の大合唱などもあり、社内の様々な部門の会員が、学部や年齢の壁を越えて交流を図ることができました。前川幹事による中締めで、来年の参加をお互いに約束しながら、盛会のうちに、閉会となりました。

今後も、金沢大学の発展と会員相互の親睦を目的に、活動を続けていきたいと思っています。

松田光司(経済学部 昭和60年卒業)



●金沢が舞台の「続社長行状記」のビデオをお貸しください

森繁久弥が主演した「社長シリーズ」で、金沢が舞台になったことがあります。第25作「続 社長行状記」(1966年2月公開)のビデオをお待ちの方がいたら、ぜひ北海道学友会にお貸しください。

映画の舞台は、東京オリンピック後の不況の時代、ロケ地はシリーズ初となる福井、金沢でした。服飾メーカー社長の森繁は、繊維会社視察のため北陸を訪れました。シリーズで初めて、森繁社長は旧制第四高等学校の出身であることが明かされ、昭和40年ごろの金沢の街で、旧友の金沢大学教授(中村伸郎)や初恋相手と再会する筋書です。

この映画は現在、ビデオが流通していません。北海道学友会で話題になり、探しております。心当たりの方は、情報をお寄せください。

北海道学友会広報担当理事の武野伸二
(携帯電話 080-2860-0161)へ。

裏面に続く

短信③ ▶ 金沢大学理学系生物学同窓会

去る10月17日(土)午後6時より金沢白鳥路 ホテル山楽で、金沢大学理学系生物学同窓会が開催されました。理学部生物学科第1回卒業の大先輩から第56回卒業の若い方まで総勢 107 名が参加する盛会となり、2010年以來の5年振りの再会でしたが、大いに旧交を温めることができました。

当日は、新幹線の金沢延伸の効果もあり、会場の確保にも苦勞し、少々狭い会場で参加者は肩を突き合わせての飲食・歓談を余儀なくされ、十分楽しんでいただけたか心配でした。さらに、遠方からの多くの観光客、また大きな学会とも重なり、参加の同窓生には宿泊予約に苦勞された方も多かったようです。同窓会役員も手分けして宿の確保・幹旋に奔走することもありました。

しかし、参加者の多くから、「楽しかった」「また近いうちに」「5年後では遅すぎる」などの声を聞き、やれやれと安堵しています。どんどん変わり行く金沢の街に学生の頃の金沢を重ね合わせて思い出にふけた方も多かったのではないかと思います。

(同窓会長 和田敬四郎)



短信⑤ ▶ 物理学科同窓会総会開催報告

金沢大学理学部物理学科同窓会総会が平成27年10月31日(土)、KKRホテル金沢において開催されました。堀尚一先生をはじめ、ご来賓の皆様方、総会開催に当たりご協力いただきました方々、ご参加いただきました同窓生の皆さまに、幹事一同、謹んでお礼申し上げます。今回の総会では、最年長である先々代の同窓会長、堂井様を始めとして91名と、これまでにならぬ程多くの同窓生にご参加いただき、大いに盛り上がりました。また、今回の総会の重要な議題でありました会則の変更も無事ご承認いただき、幹事一同安堵しております。

今回の総会では新たな試みとして、物理コースの新井豊子教授に、最先端ナノサイエンスについてのご講演をお願いしました。お引き受けいただいた、新井先生に謹んでお礼申し上げます。また、ご講演内容について、物理学を学んだ当時の記憶が呼び起こされ、まさに学徒のごとく互いに熱い議論が交わされていたようです。

最後に、会則の変更に伴い当同窓会の名称が「金沢大学物理学同窓会」となりましたことをご報告させていただきます。

金沢大学物理学同窓会幹事一同



短信④

▶ 「ノーベル賞は夢ではない」北海道学友会総会で山崎学長

金沢大学北海道学友会(紺野寛会長、会員 68 人)は10月24日、札幌市中央区の晩秋の大通公園を見下ろす「さっぽろテレビ塔」で第5回総会と懇親会を開き、来賓の山崎光悦学長を囲んで、過去最多の会員 28 人が交流を深めました。

新会員7人の紹介に続き、山崎学長が「挑戦と改革で飛躍する金沢大学」の演題で講演しました。「YAMAZAKIプラン」と名付けた戦略課題の概要とともに、学生の人間力を高めるため座禅や森の草刈り体験などを重ねる一方、国際化の一環として10年後には学部講義の50%を外国語で行うという高い目標を説明しました。先進的研究では、自立型自動運転自動車の開発や生化学分野での成果を強調し、「ノーベル賞も夢ではない」として、学友から盛大な拍手を集めました。

続いて、北陸銀行で1月まで輪島支店長だった熊倉元・北海道学友会副会長(豊平支店長)が「北陸新幹線と朝ドラ『まれ』の効果」と題してミニ講演し、変貌する金沢・石川の一端を報告しました。

会場には、旧北海道四高会から譲られた南下軍旗や超然太鼓が置かれ、最後は北溟寮OBの和田健夫小樽商大学長のエールで「北の都」と「南下軍」を歌いあげました。

北海道学友会は、学部系の金沢工業会、十全、法文、薬学の各同窓会に、教員の金澤会、北陸銀行会の道内6組織を統合し2011年に発足しました。道内には400人以上の同窓生がおり、加入を呼びかけています。問い合わせは、広報担当理事の武野伸二(携帯電話 080-2860-0161)へ。(武野伸二・1978年経済学科卒業)



▲山崎学長(前列中央)を囲み、旧交を温めた北海道学友会の第5回総会・懇親会

博物館実習生が増る、企画展示

**破かれた恋愛小説
~『寒潮』に翻弄された四高生~**

入場無料

■会 期 平成27年12月9日~平成28年2月10日
(土・日・祝日、12月26日~1月3日は閉館)

■開館時間 10時~16時(入場は15時45分まで)

■場 所 金沢大学資料館展示室(〒920-1192 石川県金沢市角間町)

■内 容

明治41年1月1日、大阪毎日新聞で菊池幽芳の小説『寒潮』の連載が開始されました。この小説は、実際に起こった3つの恋愛事件を下敷き、四高生と北陸女塾の女学生の恋愛模様などを描く群像劇となっており、地元金沢でも人気を博しました。

しかし小説の内容や描写は当時の人々にとっては過激でスキャンダラスであったため、校風改革運動の流れの中にいた四高生たちによって次第に問題化され、連載中止となりました。この一連の出来事は「寒潮事件」と呼ばれ、超然主義確立運動の中に位置づけられています。

当企画展では、小説『寒潮』の世界を学生の目線でわかりやすく解説するとともに、「寒潮事件」の経過を追うことで、なぜ『寒潮』が社会問題となったのか、また事件化の過程から見えてくる当時の四高生の気風を紹介したいと思います。

■問い合わせ先 金沢大学資料館 TEL:076-264-5215

E-mail: museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

資料館 web サイト <http://museum.kanazawa-u.ac.jp/>

- 大学が業者に名簿作成を依頼することはありません。電話等による勧誘には十分ご注意ください。
- 地域・職域・サークル・寮等の同窓会活動の近況や総会・懇親会等の開催日程、開催報告等を「学友支援ニュース・レター」に掲載ご希望の場合は、学友支援室までご連絡ください。